

令和 8 年度 第 1 回定例記者会見市長挨拶

令和 8 年 5 月 20 日

記者の皆様におかれましては、お忙しい中 定例記者会見にご出席をいただき、誠にありがとうございます。日頃から、報道各社の皆様方には、市政に対しご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

このたびの市長選挙におきまして、多くの市民の皆様から負託をいただき、引き続き市政運営を担わせていただくこととなりました。

改めて、その責任の重さを深く受け止めているところです。市民の皆様への期待に応えるべく、地域の誇りと絆を大切にしながら、香取市の更なる発展に向け、全力で取り組んでまいります。

1期目におきましては、市民の皆様への暮らしを第一に考え、様々な施策に取り組んでまいりました。

小中学校給食費の全学年無償化や、中学校屋内運動場 2 校への空調設備の設置、デマンド交通「かとくる」の運行開始、さらにはゼロカーボンシティ宣言など、市民生活の向上と将来を見据えた取組を進めてまいりました。

また、ふるさと納税の取組強化や、全国発酵食品サミット in かとの開催など、香取市の地域資源を活かした取組につきましても、

多くの皆様のご理解とご協力のもと、着実に成果へとつなげることができました。

2期目の市政運営に当たりましては、これまでの実績を礎としながら、香取市を更に前進させるための取組を一層加速させてまいります。

とりわけ、大きな転機となるのが「成田空港第2の開港プロジェクト」であります。この国家的プロジェクトを、単なる周辺開発にとどめることなく、香取市の飛躍的発展につなげていくことが極めて重要であると考えております。

そのため、企業誘致や産業拠点形成の強化、公共交通ネットワークの充実などに取り組み、若者が地元で働き、安心して暮らし続けられる環境づくりを進めてまいります。

さらに、観光分野においては香取市が有する歴史、文化、自然、農業といった地域資源を最大限に活かし、「発酵と観光のまちづくり」を推進することで、交流人口・関係人口の拡大や地域ブランドの向上につなげてまいります。

また、農業分野においては、担い手不足や高齢化が深刻化しており、持続可能な農業の実現に向けた取組が急務であります。新規就

農者の支援や農産物のブランド化などを通じて、地域農業の競争力強化と次世代への継承を図って参ります。

一方で、物価高騰や人口減少、少子高齢化など、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

市民生活にしっかりと寄り添いながら、子育て支援、地域医療、防災、産業振興など、必要な施策を着実に進め、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

さて、6月議会定例会は、会期を5月26日から6月12日までの18日間の予定で開催いたします。

本定例会に提出する案件は、補正予算案件が3件、専決処分の承認案件が3件の計6件であります。

また、報告案件といたしまして、令和7年度予算の繰り越し関係など、計8件をご報告させていただきます。

本日の会見では、はじめに私から、議案や行政情報の中で特にお伝えしたいポイントを申し上げます。そのうえで、制度や補正予算事業等の詳細については、担当部長等から説明をさせていただきます。

まずは、予算案件についてご説明いたします。

今回の補正予算（案）の主なものとして、千葉のさつまいも品質向上支援事業補助金に908万円を計上しております。

この事業は、県の補助金を活用しながら、品質の良い千葉県産さつまいもを安定的に供給する体制を構築することを目的としています。具体的には、定温貯蔵庫の整備や品質向上に役立つ機械の導入に必要な費用を支援するものです。

さらに、香取市としては、県の補助事業に加えて、対象事業費の10パーセントを独自に補助する方針としております。この取り組みによって高品質なさつまいもの安定供給を支援してまいります。

次に、先日5月12日にプレスリリースをさせていただきましたが、香取市の基幹産業である水田農業の活性化を目指した新たな取り組みについてご説明いたします。

香取市は米の農業産出額で県内トップを誇る「米どころ」として知られていますが、担い手不足や農業従事者の高齢化といった課題が年々深刻化しています。この状況を改善するため、自治体・企業・地域農業者が手を携える新しい農業モデルに取り組むことといたしました。

この度、香取市、外食企業ワタミの子会社である「有限会社ワタミファーム」そして地元で長年米作りを担ってきた「農事組合法人

清里ファーム」の3者で連携協定を締結いたします。この協定により「有限会社ワタミファーム」が香取市内で米作りを開始し、地域の知恵と経験を持つ「農事組合法人清里ファーム」がその技術サポートを担う仕組みを構築します。

さらに生産された米はワタミグループ内で利用され、安定した販路の確保につながるとともに、香取市産米のブランド価値の向上や地域産品のPR効果、知名度の向上が期待されます。この取り組みを通じて、地域の農業に新たな活力を生み出していきたいと考えています。

連携協定調印式の詳しい内容につきましては、この後担当課長より説明させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、香取市では、今年、合併20周年という節目を迎えております。この記念すべき年に、市民の皆様とともに楽しみ、盛り上がるイベントとして、『第21回香取市民レガッタ』を開催いたします。開催日は6月28日（日）、会場は千葉県の水上市の聖地でもある小見川スポーツ・コミュニティセンター前のコースとなります。千葉県内で唯一、ローイング競技が行われるのは、この香取市の会場だけであり、まさに特別なイベントとなっております。

レガッタとはローイング競技の大会のことで、水上で繰り広げられる白熱のレースは見るだけでも迫力満点です。息を揃えて漕

進むボートの動きや、選手たちの力強さは、見る人の心を熱く震わせます。また、黒部川に浮かぶボートに、チームの5人が息を合わせて漕ぎ、チームの一体感やゴール後に味わう達成感は、選手たちの心に深い感動を与える特別なひと時となります。

当日は、レース以外にも初心者向けの体験プログラムや、観覧スペースも充実しており、家族や友人同士で一日たっぷり楽しんでいただける内容をご用意しております。地域のつながりを感じながら、緑風の中で進むボートの爽快感をぜひ味わいにお越しくください。

参加チームの募集も5月23日まで行っておりますので、たくさんのチームにご参加いただきたいと思います。

さらに、来年度には、香取市で全国市町村交流レガッタの開催が予定されており、全国から選手が集まることとなります。この香取市民レガッタが、地域の盛り上がりをさらに後押しし、市民の皆様の交流や水上スポーツへの関心を高めるきっかけとなるよう願っております。

私からは以上となります。6月議会提出議案の補正予算案の詳細につきましては、総合政策部長よりご説明させていただきます。

本日は、よろしくお願いたします。